

岐阜県内のトップスポーツチームが地域にもたらす社会経済効果

岐阜大学 学生会員 ○加藤雅也

岐阜大学 正会員 高木朗義

1. はじめに

近年、全国で地域密着型のトップスポーツチームが増加している。多くのトップスポーツチームは、試合開催による興業収入だけで経営することは困難であり、地域企業や地域住民、地方自治体からの支援を受けている。特に公金が投入されているチームは、公共政策としての評価が必要であると考えられる。本研究では、トップリーグ¹⁾に所属するスポーツチームのうち、表1に示す岐阜県内の5チームを対象とし、2018-19シーズンにおいて、チームが地域にもたらす社会経済効果を評価する。特に、FC岐阜は岐阜県および岐阜県内42市町村すべてがスポンサーとなっており、地方自治体から大きな支援を受けている。公的な資金が使われている中、地域にどれくらいの社会経済効果があるのかを明確にすることは、公共政策の説明責任の側面からも重要である。

2. 研究の方法

トップスポーツチームがもたらす社会経済効果を評価するにあたり、試合観戦者に対して、アンケート調査を実施した。本稿では、岐阜スーパース、JAぎふりオーレーナの結果を示す。

アンケート調査結果に基づき、社会経済効果を定量評価する。具体的には、機会費用法、消費者余剰法、CVMなどを用いて便益を算出する。機会費用法とは、活動を行うために市場に労働を提供しないことによって失った賃金で評価する方法で、時間価値を算出することで評価する²⁾。消費者余剰法とは、需要曲線と均衡価格の差分を積分することにより便益を算出する方法である²⁾。CVMとは、支払意思額を直接的に質問し、

その結果に基づいて便益を算出する方法である³⁾。

また、便益帰着構成表を作成する。便益帰着構成表とは、発生ベースで捉えられた社会的便益の総額が関係主体にどのような項目として分配されているかを表現したものである⁴⁾。便益帰着構成表によりトップスポーツチームの活動や地域貢献活動が地域にもたらす社会経済効果とお金の流れを把握する。

3. 岐阜スーパースの記述式便益帰着構成表

岐阜スーパースへのヒアリング調査に基づいて作成した記述式便益帰着構成表を表2に示す。表2から岐阜スーパースの活動による社会経済効果は幅広い範囲に及んでおり、地域社会にもたらす影響は大きいことがわかる。岐阜スーパースは経済面だけでなく地域貢献活動を行うことで、コミュニティの創出や地域への愛着度向上などの経済面以外の社会的な効果をもたらしており、影響を及ぼす範囲は多岐にわたる。

4. アンケート調査と便益評価

岐阜スーパースとJAぎふりオーレーナの試合観戦者に対するアンケート結果に基づき、地域貢献度を評価した。結果を図1, 2に示す。どちらも、それぞれの項目で地域貢献がほどほど以上という回答が約9割を占めている。このことより、どちらのチームも地域貢献の効果をもたらしていると言える。特に、バスケットボールの普及、バレーボールの普及の評価が高い。このことから、岐阜スーパースとJAぎふりオーレーナはそれぞれのスポーツを盛り上げていることが分かる。また、運動機会の増加が大きい、とても大きいと回答している割合は4~5割ある。観戦者の運動機会を誘発しており、観戦者に健康や生活における楽しみを提

表1 岐阜県内のトップスポーツチームとその概要

	FC岐阜	岐阜スーパース	飛騨高山ブラックブルズ	JAぎふりオーレーナ	大垣ミナモトソフトボールクラブ
種目	男子サッカー	男子バスケットボール	女子ハンドボール	女子バレーボール	女子ソフトボール
リーグ・カテゴリー	Jリーグ・2部	Bリーグ・3部	JHL	Vリーグ・2部	日本ソフトボールリーグ・2部
本拠地	岐阜市	岐阜市	高山市	岐阜市	大垣市
年間観客数	144,011人	約30,000人	—	—	—
年間試合数	42試合	60試合	29試合	39試合	24試合
予算	1,090百万円	—	50百万円	—	—
チーム誕生の経緯	—	クラブ時代に良い成績を残し、Bリーグに参加。	国体で良い成績を残し、そのメンバーでチームを結成。	JA岐阜の福利厚生の一環。	—

表2 岐阜スүүプスの記述式便益帰着構成表

	チーム			観戦者			地域住民	企業		専門機関		メディア	協会	合計
	組織	選手	指導者	直接	ソリスト	間接		地域企業	域外企業	行政	医療			
運営支援	a1						a2,-a3	a4,-a5	a4,-a5	a6		a7		A
営業	-b1	b2	b2					b3			b2		b4	B
施設	c1,-c2						c1,-c2	c3		c2,c4				C
観戦	d1			d2,-d3	d4,-d3									D
飲食・物販				e1,-e2	e1,-e2			e3,e4						E
スポンサー	f1							f2,f3	f2,f3			h2,h3		F
ネーミングライツ								g1-g2	g1-g2	g4				G
会員	h1			h2,-h3	h2,-h3			h2,-h3						H
B・放送権	i1										i2	i3,-i4		I
グッズ	j1			j2,-j3	j2,-j3	j2,-j3		j4						J
交流				k1,k2	k1,k2	k1,k2	k1,2							K
中継	l1					l1			l2			l3,-l4		L
一般消費	m1			m2,-m3	m2,-m3		m4,-m5	m6		m7				M
労働							n1	n2		n3				N
公共交通				o1	o1					o2				O
普及	p1	p2	p2	p3	p3		p3							P
育成	q1	q2	q2	q3			q3							Q
指導力		r1,r2	r1,r3								r1		r1	R
地域魅力				s1			s1	s1						S
合計	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	

供している。

アンケート調査により把握した支払意思額から地域貢献による1人1年当たりの便益をCVMにより算出する。結果を表3に示す。1人当たりの年便益は、岐阜スүүプスが900~1000円、JAぎふりオレーナが400~500円となった。岐阜スүүプスは実施している活動の数、認知度が大きいことから便益が大きくなっていると考えられる。また、JAぎふりオレーナは非行防止に関わる活動をしているが、岐阜スүүプスはしていないため便益は発生していない。

5. おわりに

トップスポーツチームの地域貢献活動は経済面だけでなく地域社会と関係を持ちながら社会的な効果をもたらしている。

今後は、便益の値を便益帰着構成表に反映させるとともに、5チームの便益帰着構成表を比較することで、各トップスポーツチームの社会経済効果を分析する。

参考文献

- 1) 日本トップリーグ連携機構：ホームページ, <http://japantopleague.jp/>, 2019/12/17 閲覧。
- 2) 高木朗義・大野栄治：第3章旅行費用法, 環境経済評価の実務, 大野栄治編著, 勁草書房, 35-60, 2000。
- 3) 大野栄治：第5章CVM(仮想市場評価法), 環境経済評価の実務, 大野栄治編著, 勁草書房, 83-104, 2000。
- 4) 高木朗義：第4章便益帰着構成表, 公共政策のための政策評価手法, 伊多波良雄編著, 中央経済社, 87-107, 2009。

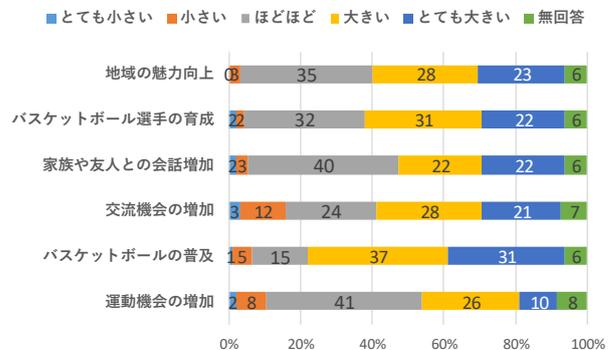


図1 岐阜スүүプスの地域貢献評価

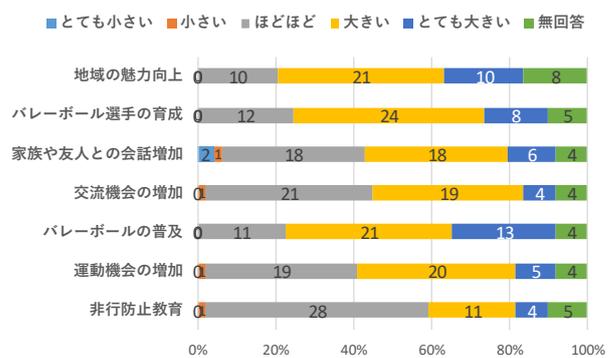


図2 JAぎふりオレーナの地域貢献評価

表3 地域貢献の年便益/人

	岐阜スүүプス	JAぎふりオレーナ
地域の魅力向上	1000円	500円
選手の育成	1000円	400円
家族や友人との会話の増加	1000円	400円
交流機会の増加	1000円	400円
バスケットボールの普及	1000円	-
バレーボールの普及	-	400円
住民の運動機会の増加	900円	400円
非行防止教育	-	400円